

「不動産の日」アンケート 住宅の居住志向及び購買等に関する意識調査
～ 調査結果のポイント ～

有効回答数16,778件のビッグデータ

- ★ 消費税増税 10%を目前に控え、「買時」の理由として「増税前」が順位を上げました。
- ★ 「持家派」と答えた若年層の 4 割が「マイホームが夢」とした一方、「買い時だと思わない」と答えた 20 代の約 6 割が「収入の不安」を抱えていると回答。そんな中、ライフプランで最も重視するのはやはり「貯蓄」という結果に。
- ★ 中古住宅購入時に必要と思われるのは「瑕疵保険」「履歴情報」「インスペクション」がいずれも 6 割超。

- Q1 「買い時だと思う」(15.2%)は減少、「思わない」(23.3%)は微増
Q1-A 買い時の理由は「住宅ローン減税など税制優遇」(40.0%)、「消費税増税前だから」(26.9%)が2位に浮上
Q1-B 買い時だと思わない理由、20 代の約 6 割が「収入の不安」を挙げる
- Q2 住まいの満足度、「持家」は 73.8 点、「賃貸」は 63.5 点
- Q3 現在の住まいは関係なく・・・、「持家派」83.7%、「賃貸派」16.2%
Q3-1 持家派の理由は、「家賃が無駄」が 65.7%、20 代の 4 割は「マイホームが夢」
Q3-2 賃貸派の理由は、「ローンに縛られたくない」(61.3%)に続き、「税金が大変」(33.5%)が 2 位に浮上
- Q4 購入のポイントは 1 位が「交通の便」、2 位「周辺環境」、3 位「価格」
女性は男性より「日当たり」や「間取り」を気にする傾向も
- Q5 借りるポイントは 1 位が「賃料」、2 位「交通の便」
「賃料」は若年層ほど、「交通の便」は年齢が高くなるほど気にする傾向が
- Q6 物件情報は 8 割が「インターネット・携帯サイト」から
若年層「インターネット・携帯サイト」、高年齢層「新聞媒体」が顕著
- Q7 インターネット物件検索サイト利用状況、「賃貸物件検索手段」として若年層に利用経験が高い傾向
- Q8 住宅売買時に必要な税金の優遇措置、1 位は取得税・登録税等購入時の軽減措置
30 代～40 代はローン控除、60 代以上は買換時の軽減措置を望む傾向
- Q9 中古住宅購入の際、必要なのは・・・、1 位「瑕疵保険」、2 位「履歴」「インスペクション」、いずれも 6 割を超える
「とにかく価格が安い」は 1 割にとどまる
- Q10 物件情報入手の際、あると便利な情報は、「物件の写真」。
女性は「エリアの年齢層や世帯層」を気にする傾向も
- Q11 2011 年の東日本大震災後の意識の変化は、6 割近くが「築年数や構造」を意識するようになったと回答
- Q12 売買や賃貸の際、不動産会社に最も期待することは「丁寧な接客対応と説明」で、若年層ほど顕著。「契約成立に向けた交渉」が続く
- Q13 ライフプランで重視するものは 1 位「貯蓄」(53.4%)、2 位「仕事」(51.3%)、3 位「子どもの教育」(35.0%)
「貯蓄」と「子どもの教育」を重視する傾向は男性より女性が高い
- Q14 不動産店を選ぶポイントは「店舗の雰囲気」と答えた女性が 6 割を超える
ホームページは 3 割強、CMや広告は 1 割にとどまる
- Q15 不動産店のイメージは、「よい」58.4%、「悪い」41.6%
若年層ほど「よい」印象か
- Q16 不動産店のイメージ、点数では・・・「62 点」

